



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成27年11月26日

文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム 『最先端植物工場マネージャー育成プログラム』（4期生） の開講式を行います。

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンターが実施する文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション」事業における「最先端植物工場マネージャー育成プログラムの開発及び実施」プロジェクトについて、平成27年度最先端植物工場マネージャー育成プログラム」受講生（定員10名）を募集し、22名を受講者として決定しました。

本プログラムの開講式を下記のとおり行います。

（引き続き午前9時30分から講義を行います。）

記

日時：平成27年12月 5日（土）午前9時から

場所：豊橋技術科学大学 A2-201講義室

内容：1. 理事・副学長挨拶

大貝 彰 豊橋技術科学大学理事・副学長

2. プロジェクトの概要・スタッフ紹介

井上隆信 先端農業・バイオリサーチセンター長

【司会：熊崎 忠 先端農業・バイオリサーチセンター特任助教】

【本件に関する連絡先】

先端農業・バイオリサーチセンター 特任教授 三枝正彦

（最先端植物工場マネージャー育成事業推進室） TEL:0532-44-6655

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL 0532-44-6506

最先端植物工場マネージャー育成プログラムの開発及び実施

第4期生募集期間: 2015.9.1 ~ 2015.10.20

無料

第4期受講期間
2015年12月~2017年3月

募集人数: 10名

応募資格: 高等学校卒業
程度の学歴を有し、eラー
ニングを受講可能な人

事業目的

浜松・東三河地域は我国で最も農業が盛んな地域であり、とりわけ東三河地域は施設園芸発祥の地であり110年余の歴史を持つが、本地域の農業生産額は、平成7年度の1650億円を頂点に現在では100億円程度低減している。本プロジェクトでは最新の光、電子技術を基盤とした最先端施設園芸としての植物工場を管理運営できる人材を養成する。これにより、本地域を環境に左右されない定時、定量、定質でかつ安定な新農業を可能とする植物工場の研究開発拠点化し、東三河地域、ひいては我国農業の活性化を図る。

目指す人材像

システムティックな工学的思考と技術、日々変化する生産現場の状況にファジーに対応できる農学的思考と技術を併せ持ち、植物工場の管理、運営に必要な広範な基礎知識を習得し、安全で高品質、高収量生産と安定した植物工場経営ができる人材を養成する。

教育プログラム



太陽光型植物工場

生産現場の栽培管理、品質管理、GAP、統合環境制御を体得する



植物工場マネージャー

植物工場管理経営士
IT食農先導士 の称号授与



人工光型植物工場

植物診断、光合成環境、養液診断、複合制御管理を習得し、品質、衛生管理を実習する



コンソーシアム

- 豊橋技術科学大学
先端農業・バイオリサーチセンター
(名古屋大学、千葉大学、東海大学、東京農工大学などに講師依頼)
- 民間企業
(株)サイエンスクリエイト、イシグロ農材(株)、大仙(株)、トヨハシ種苗(株)など
- 自治体
愛知県、浜松市、豊橋市などの地域自治体

協力機関

- 団体
JA、地域5信用金庫、植物工場開発・普及研究会、(株)とよはしTLO
- 海外
イシグロ農材(株)オランダ支店、ワーゲニンゲン大学

【問合せ・申込先】

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

TEL: 0532-44-6655

FAX: 0532-81-5108

http://www.recab.tut.ac.jp

Email: manager@recab.tut.ac.jp